

令和 2年 9月

櫻木哲詩 学位論文審査要旨

主 査 難 波 栄 二
副主査 久 留 一 郎
同 植 木 賢

主論文

Effects of irbesartan on uric acid metabolism in patients with treated essential hypertension

(本態性高血圧症患者における尿酸代謝に及ぼすイルベサルタンの効果)

(著者：宮崎聡、櫻木哲詩、浜田紀宏、杉原志伸、朴大昊、井上和興、水田栄之助、山本康孝、太田原顕、桑原政成、坂口弘美、野坂美仁、岸田専蔵、荻野和秀、加藤雅彦、谷口晋一、吉田明雄、二宮治明、山本一博、久留一郎)

平成30年 Vascular Failure 2巻 11頁～19頁

参考論文

1. フコイダン前投与により誘導される虚血肢の血管新生作用に関する研究

(著者：野津智美、櫻木哲詩、陶山淑子、八木俊路郎、久留一郎)

平成30年 米子医学雑誌 69巻 16頁～24頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は高血圧患者40例を対象とした後ろ向き研究であり、イルベサルタン投与前と投与3ヶ月後の血清尿酸値、尿中尿酸値、血清クレアチニン値、尿中クレアチニン値、尿酸クリアランス値、クレアチニンクリアランス値、尿中尿酸/クレアチニン比、尿酸クリアランス/クレアチニンクリアランス比の測定結果から、イルベサルタンの血圧及び尿酸代謝に及ぼすイルベサルタンの影響を検討したものである。その結果、イルベサルタンは尿酸排泄を改善し、排泄低下群では尿酸分泌を低下させたが非排泄低下群では尿酸排泄に影響を与えなかったこと、高尿酸血症患者ではイルベサルタンは尿酸排泄に影響を与えなかったが尿酸産生に影響を与えた可能性があることが判明した。本論文の内容は、生活習慣病領域を含めた血管不全の分野で、血圧及び尿酸代謝に対するイルベサルタンの有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。